



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9384 URL http://www.ntl-naigai.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	5,525	△0.4	297	△4.4	311	12.0	202	3.7
2018年12月期第1四半期	5,548	6.9	311	△14.2	278	△28.5	195	△48.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 222百万円( -%) 2018年12月期第1四半期 △23百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	20.85	—
2018年12月期第1四半期	20.13	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	11,505	8,841	70.7
2018年12月期	10,967	8,606	73.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 8,134百万円 2018年12月期 8,096百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,820	4.1	800	8.9	830	15.1	570	18.1	58.72
通期	24,500	5.4	1,750	8.2	1,790	8.0	1,220	6.4	125.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 内外釜山物流センター株式会社、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	10,698,000株	2018年12月期	10,698,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2019年12月期1Q	991,371株	2018年12月期	991,371株
-------------	----------	-----------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期1Q	9,706,629株	2018年12月期1Q	9,696,981株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化やイギリスの欧州連合(EU)離脱の不安定要因を受け、先行き不透明な状況が続いております。

また前期からの米国の保護貿易政策の影響等により中国の経済成長率が鈍化した為、当社グループ業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易に関しては対前年比で輸出量が減少して推移しております。

このような状況の下当社グループは、当連結会計年度が最終年となります第3次中期経営計画(2017年1月～2019年12月)の基本方針に基づき、国際総合フレイトフォワードラーとしてさらなる成長を目指す取り組みを強化してまいりました。2019年3月には内外釜山物流センター株式会社(以下内外釜山物流センター)を子会社化しており、当第2四半期以降の業績拡大に寄与するものと見込んでおります。

当社グループの実績につきましては、連結売上高は対前年同四半期比でわずかに減収となりましたが、売上原価の低下により売上総利益は増益となりました。一方、内外釜山物流センターの取得関連費用により販管費が増加した為、営業利益は減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,525百万円(前年同四半期比0.4%減)、営業利益は297百万円(同4.4%減)、経常利益は311百万円(同12.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円(同3.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第1四半期連結累計期間における売上高は、単体及び国内グループ会社において前年同四半期を下回り減収となりましたが、売上原価の低下に伴う粗利率向上により、セグメント利益(営業利益)においては増益となりました。

この結果、日本セグメントにおける売上高は、3,665百万円と前年同四半期と比べ50百万円(1.4%減)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は205百万円と前年同四半期と比べ12百万円増加(6.4%増)いたしました。

## ② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社11社を有しており、日本からの貨物以外の取扱も増加しております。当第1四半期連結累計期間における海外売上高は、前年に引続き内外銀山ロジスティクス株式会社が売上、営業利益で増収増益となり、セグメント利益(営業利益)においても増益となっております。

この結果、海外セグメントにおける売上高は、1,860百万円と前年同四半期と比べ28百万円(1.6%増)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は135百万円と前年同四半期と比べ10百万円増加(8.8%増)いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ538百万円増加し11,505百万円となりました。

## (流動資産)

現金及び預金が182百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し7,828百万円となりました。

## (固定資産)

有形固定資産においては内外釜山物流センターを子会社化したことにより、建物及び構築物が616百万円増加し、無形固定資産においてはのれんが52百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ730百万円増加し3,677百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ302百万円増加し2,663百万円となりました。

## (流動負債)

買掛金の増加53百万円、賞与引当金の増加109百万円、未払法人税等の減少101百万円等により、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し1,928百万円となりました。

(固定負債)

内外釜山物流センターの子会社化に伴い引継いだ長期借入金の増加234百万円、退職給付に係る負債の増加27百万円により、前連結会計年度末に比べ285百万円増加し735百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては非支配株主持分が196百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し8,841百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2019年12月期)の業績につきましては、2019年2月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

今後の見通しにつきましては、業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,743,927	5,561,912
売掛金	1,691,461	1,702,013
その他	589,108	567,688
貸倒引当金	△3,785	△3,447
流動資産合計	8,020,710	7,828,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,189	2,128,948
その他(純額)	543,465	589,241
有形固定資産合計	2,055,654	2,718,190
無形固定資産		
のれん	86,965	139,281
その他	78,215	76,498
無形固定資産合計	165,181	215,780
投資その他の資産		
その他	1,035,956	1,056,504
貸倒引当金	△309,906	△312,869
投資その他の資産合計	726,049	743,634
固定資産合計	2,946,885	3,677,605
資産合計	10,967,596	11,505,773

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,105,542	1,159,484
未払法人税等	252,407	151,403
賞与引当金	18,486	127,542
その他	533,822	489,621
流動負債合計	1,910,258	1,928,053
固定負債		
長期借入金	—	234,720
退職給付に係る負債	298,613	326,588
その他	152,083	174,452
固定負債合計	450,696	735,761
負債合計	2,360,955	2,663,814
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	225,260	225,260
利益剰余金	8,546,872	8,574,511
自己株式	△1,010,833	△1,010,833
株主資本合計	8,005,237	8,032,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,763	7,766
為替換算調整勘定	86,875	95,869
退職給付に係る調整累計額	△1,567	△1,567
その他の包括利益累計額合計	91,071	102,068
非支配株主持分	510,332	707,014
純資産合計	8,606,641	8,841,958
負債純資産合計	10,967,596	11,505,773

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	5,548,098	5,525,960
売上原価	4,094,508	4,035,187
売上総利益	1,453,589	1,490,773
販売費及び一般管理費	1,142,407	1,193,265
営業利益	311,182	297,507
営業外収益		
受取利息	9,202	11,411
不動産賃貸料	8,012	6,365
その他	2,116	3,369
営業外収益合計	19,331	21,146
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,210	1,212
為替差損	46,678	2,664
支払手数料	4,318	2,267
その他	116	809
営業外費用合計	52,323	6,954
経常利益	278,190	311,700
特別損失		
固定資産除売却損	19	—
施設利用会員権評価損	922	—
特別損失合計	942	—
税金等調整前四半期純利益	277,247	311,700
法人税、住民税及び事業税	100,305	116,592
法人税等調整額	△28,051	△18,199
法人税等合計	72,253	98,393
四半期純利益	204,994	213,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,776	10,949
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,217	202,357



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	204,994	213,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,314	2,002
為替換算調整勘定	△218,378	6,742
退職給付に係る調整額	236	0
その他の包括利益合計	△228,456	8,745
四半期包括利益	△23,462	222,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,148	213,354
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,314	8,697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 韓進海運新港物流センター株式会社  
事業の内容 物流倉庫の運営

## ② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、韓国において、NTL NAIGAI TRANS LINE (KOREA) CO., LTD. 及び内外釜山ロジスティクス株式会社においてそれぞれ国際物流事業及び倉庫事業を展開しておりますが、このたび倉庫事業を拡大展開することとなり、韓進海運新港物流センター株式会社の株式を取得するに至ったものです。

## ③ 企業結合日

2019年3月28日

## ④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

## ⑤ 結合後企業の名称

内外釜山物流センター株式会社

## ⑥ 取得した議決権比率

60.0%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年3月31日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	340,955千円
取得原価		340,955千円

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー業務に対する報酬・手数料等 38,635千円

## (5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ① 発生したのれんの金額

58,978千円

なお、のれんは、当第1四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## ② 発生原因

今後の事業展開によって期待される超過収益力によるものであります。

## ③ 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却いたします。なお、償却期間については算定中であります。

## (追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,715,913	1,832,184	5,548,098	—	5,548,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,829	188,480	268,310	△268,310	—
計	3,795,743	2,020,665	5,816,409	△268,310	5,548,098
セグメント利益	192,715	124,792	317,507	△6,325	311,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,325千円には、のれん償却額△6,315千円及びその他調整額△9千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,665,241	1,860,718	5,525,960	—	5,525,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,739	181,343	261,083	△261,083	—
計	3,744,981	2,042,062	5,787,044	△261,083	5,525,960
セグメント利益	205,003	135,742	340,745	△43,237	297,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,237千円には、のれん償却額△6,315千円、子会社株式の取得関連費用△36,909千円及びその他調整額△12千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に連結子会社、内外釜山物流センターの株式を取得しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間において58,978千円であります。